資料４

諮問第2号 わかば保育園の統合について

1. 本諮問の背景

(1)わかば保育園を取り巻く現状と財政的負担の増加

わかば保育園は昭和 54 年の建設から築 47 年が経過しており、建物の老朽化が著しく進行しています。一方で、本町における保育所に関する運営費は、近年大幅に増加しており、町にとって大きな財政的負担となっています。

今後の持続可能な保育行政の維持を考慮する上で、効率的な施設配置と運営体制の見直し(統廃合)を進めることが避けて通れない状況となっています。

施設名	所在地	建設年月	入所数	構造	延床面積
わかば保育園	**四畝 58 番地 1**	**S54.3（47）**	**76 人**	**RC**	**1,151 ㎡**
南保育園	明神戸 59 番地	S55.3（46）	77 人	RC	1,137 ㎡
富貴保育園	冨貴字道兼 50 番地 1	S59.3（42）	115 人	RC	1,251 ㎡
北保育園	砂川一丁目 43 番地	H11.3（27）	162 人	RC	1,938 ㎡
西保育園	中根四丁目 50 番地	H20.3（18）	196 人	RC	2,353 ㎡
六貫山保育園	六貫山一丁目 61 番地	H23.3（15）	195 人	RC	2,194 ㎡
中山保育園	平井田 10 番地 17	H27.3（11）	197 人	RC	2,542 ㎡
東大高保育園	東大高字中池下 1 番地 7	R7.3（1）	101 人	S	3,466 ㎡
合計			1,119 人		16,032 ㎡

※R8.4.1 時点

(2)現行方針に基づく統合の位置付けと受入体制の確保

現行の「第2次武豊町保育園等基本方針・整備計画」においても、わかば保育園は「東大高保育園との統合を視野に入れた検討」をする園として明確に位置づけられています。

位置的には東大高保育園だけでなく南保育園にも隣接していることから、**令和 7 年 3月に改築した東大高保育園および令和 11 年 4 月に民営化予定の南保育園**において受入定員(受け入れ枠)を拡充することにより、わかば保育園の入所定員を両園で受け入れできる体制が整います。

これらを背景として、わかば保育園を令和 11年度末に廃止し、南保育園および東大高保育園へ統合することについて本審議会に諮問するものです。

2. 統合の方針となる4つの主な理由

理由①:建物の深刻な老朽化と保育ニーズへの課題

1) 建築後 47 年経過による老朽化と構造・設備の課題

わかば保育園は昭和 54 年(1979 年)3 月に建設され、令和 8 年時点で築 47 年

が経過しています。一般的な RC（鉄筋コンクリート）造公共施設の標準的な大規模改修時期（築 30 年）を 17 年も経過しており、町立保育園 8 園の中で最も古い施設です。耐震診断上の致命的な倒壊リスクはないものの、長年の経年劣化に伴い、以下の課題が表面化しています。

- **外壁の劣化**：外壁クラック（ひび割れ）の発生。
- **建具・内装の機能低下**：サッシや扉の開閉不良、床材の剥がれ・摩耗、天井摩耗。
- **施設の構造的な課題**：部屋の配置による使いにくさ（手洗い場への動線等）





理由②：財政的負担（単独建替え・長寿命化改修の場合）

整備計画の見直しで提示している財政試算と同様に、「建て替え」「長寿命化改修（大規模改修）」の手法におけるコストの検証を行います。

1）単独建て替えを行った場合の財政負担（公設公営の場合）

- **建設単価の高騰**：資材価格や人件費の高騰により、保育所の平米単価は過去 10 年で約 1.5 倍に上昇しています。

・わかば保育園（延床面積 1,151 ㎡）を公設公営で建て替える場合

本体工事費・設計費等：約 50～60 万円/㎡として積算

→**約 6.5～7.0 億円**

※近隣園で必要入所数が確保できるため、民営化での建替えは困難

2）長寿命化改修（大規模改修）を行った場合の具体例と財政・施工上の課題

わかば保育園（延床面積 1,151 ㎡）で長寿命化改修を行った場合の試算例は、以下の通りです。

【具体例試算：わかば保育園（1,151 ㎡）の長寿命化改修費用】

・長寿命化工事本体費（躯体補強・防水・設備全面更新・断熱化等）

※令和 2 年時点長寿命化工事設計額（同規模園）に上昇率を加算

→**約3．0～3．5億円**

※上記に加え、保育園は小中学校と異なり長期休業期間（夏休み等）がないため、約 1 年半の施工期間中の「仮園舎設置工事」が必須です。

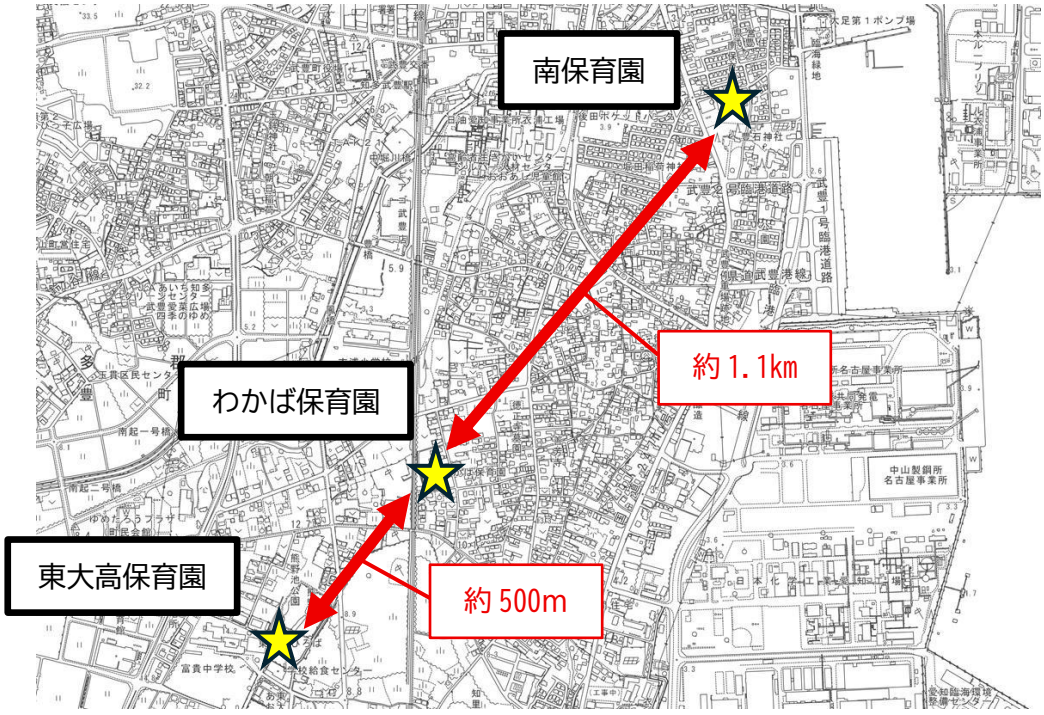
仮園舎であっても、建築基準・耐火基準等を満たす必要があるため、解体費用を含め、多額の財政負担が生じます。

理由③：統合先（東大高保育園・民営化する南保育園）における受入体制の確立

1）地理的近接性

わかば保育園は、令和７年３月に建て替え開所した「東大高保育園」および令和11年４月に民営化し、新園舎が開所する「南保育園」と地理的に近接しています。

保護者の主な移動手段や生活圏域を考慮しても、統合による通園上の著しい負担増は生じない範囲に位置しています。



2）定員・受入人数

各園の入所状況を踏まえると、**東大高保育園と民営化する南保育園の２園で、わかば保育園の園児を概ね受け入れることができる体制**となっています。

【統合先２園におけるわかば保育園受入可能状況表】

①建物規模による定員（人） ※南保育園民営化後

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
東大高保育園	12	18	24	50	50	50
南保育園（民営化後）	6	15	18	25	25	25
合計（A）	18	33	42	75	75	75

②入所数（人） ※R8.4.1 時点

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
東大高保育園	4	10	14	29	24	20
南保育園	0	12	10	16	19	20
わかば保育園	0	12	8	17	16	23
合計（B）	4	34	32	62	59	63

③定員と入所数の差（①―②）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
（A）―（B）	**14**	**▲1**	**10**	**13**	**16**	**12**

理由④：深刻化する保育士不足への対応と保育体制の向上

1）深刻化する保育士不足

全国的な保育士不足の影響は本町でも顕著であり、退職者数に対して新規正規職員の確保が困難な年度が生じています。さらに、保育士の配置基準の見直しが段階的に進められており、これまで以上に多くの保育士が必要とされています。

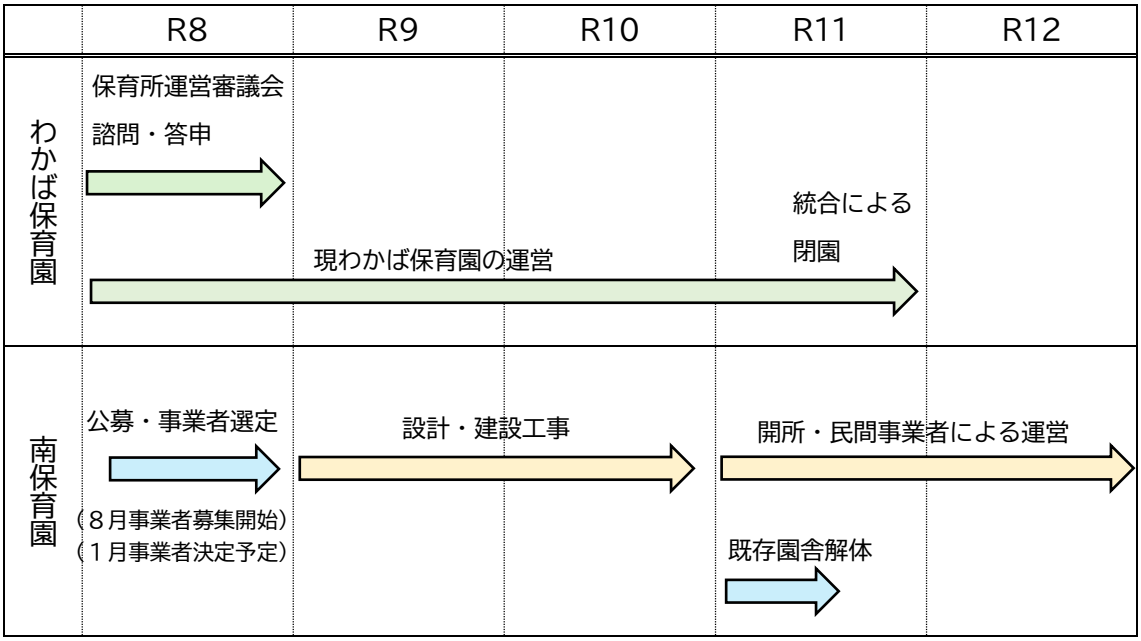
- **正規保育士充足率の向上**：わかば保育園を集約・統合することにより、限られた公立園の正規保育士を存続する公立園へ再配置することができます。

3. わかば保育園統合および関連事業スケジュール（予定）

（1）令和８年度 審議・決定プロセス（詳細）

令和8年８月	南保育園 民営化事業者募集開始
8月	第１回 保育所運営審議会 ※整備計画方針見直しおよび本諮問の実施
9月下旬～10月上旬	第２回 保育所運営審議会
10 月	令和９年度 保育所等一斉申込受付
11月～12月	保育園整備計画案パブリックコメント実施
令和9年１月	南保育園 民営化事業者決定
1月	**第３回 保育所運営審議会（答申）**
2月	保育園整備計画確定、公表
3月以降	わかば保育園 保護者説明会

（2）中長期ロードマップ（令和８年度～令和 12 年度）



4. 保護者への説明とこどもの環境変化への配慮

わかば保育園の統合にあたっては、以下の通り丁寧に不安解消策を講じます。

①情報提供と丁寧な引継ぎ

- 保護者向け説明会を開催し、統合の必要性、スケジュール、転園手続きについて周知します。
- 在園児の保護者に対して個別の面談・意向調査を実施し、統合先（新南保育園・東大高保育園）の希望聴取や、配慮事項（障がい児保育、アレルギー対応等）の引継ぎを行います。

② こどもの環境変化を和らげる「プレ移行プログラム（交流保育）」

- 令和 11 年度（統合前年度、南保育園の民営化開所年）において、わかば保育園と統合先（東大高保育園・新南保育園）との間で、園児の交流ができるよう計画します。
- 新しい園の環境や保育士、他園の園児に触れる機会を設けることで、子どもの環境変化による負担を最小限に抑えます。